

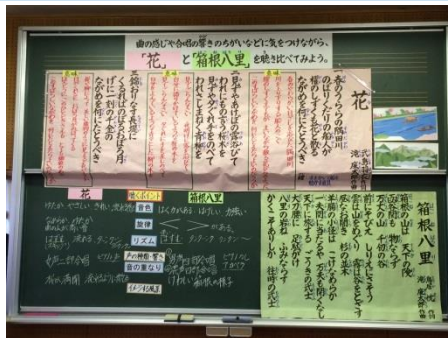
# 羽生市立川俣小学校

## 音楽

題材名「詩と音楽を味わおう」第6学年  
～滝廉太郎の歌曲～



聴く観点が明確な発問や板書



豊富な資料

## 参会者アンケートから

### 研究会のあり方・全体的な感想

- 児童一人一人を大切にしていることがよくわかる授業でした。導入、机間指導等、授業全てにおいて児童への声掛けが素晴らしかったです。
- 事前準備や掲示資料、板書の仕方、大変参考になりました。児童への声掛け、やり取りが素晴らしいです。
- 授業を御提供いただいた先生も授業も素晴らしかったです。一緒に協議し、たくさんのアイディアを得ることができたことも大変よかったです。
- 今年、音楽専科になって1年目です。研究授業はもちろん、その後の研究協議でいろいろな先生方の授業の改善策や手立ても伺えて、とても勉強になりました。
- 授業者の感想から児童の実態を伺い、授業者の御苦労がわかりました。授業の準備、掲示物等、素晴らしかったです。
- ワークショップ型研修会は、他校の先生方のお話がたくさん伺えて、すぐに役立つものばかりで、大変有意義でした。この教材は来週予定しているので、早速実践してみたいと思いました。
- 音楽を中心に授業をもたせていただいています。鑑賞は私自身も苦手意識を持っていたので本当に勉強になりました。



ウォーミングアップの時も、  
本時のねらいに合わせて  
「歌詞を大切に！」



耳と心でよく聴こう



一度聴いた後、聴く観点別にまとめる



児童一人一人に応じた指導

○ 鑑賞領域は音楽科の大きな領域の一つですが、表現領域に時間を取りすぎていて、これでよいのかなと思うことがあります。「鑑賞活動」を丁寧にすることが、表現活動のさらなる高まりになるのかなということを本研修で深く感じることができました。

○ ねらいと振り返りをしっかりさせること、発問の精選等をする事、今日学んだことをこれからの自分の実践に生かしていきたいと思います。

○ 鑑賞教材には色々な切り口があるので、ねらいに合った切り口を使うことが大切だなと感じました。

○ 音楽専科ではなかなかできない児童とのかかわり方がとても参考になりました。

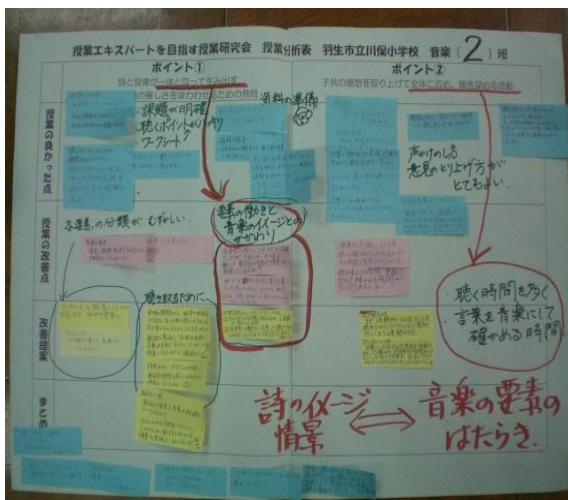
○ 鑑賞の授業は、自分でもとても難しいなと感じていたので、授業を参観し、準備から学習の流れまで、とても勉強になりました。聴かせる時間を多くとったり、聴く観点を明確にしたりすることは大切だなと感じました。



考えを共有し、広める



「一人一人感じ方は違っても、うなずける部分がありますね」



グループ協議でまとめた授業分析表



授業のよさや具体的な改善策が多く出された活発なグループ協議